

	チェック項目	■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 不明	ご意見	今後の課題・改善点
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか		◇もう少し広い方がよりよい	基準を満たし、療育内容により個別ルーム・パーティションも確保しており、十分な活動ができる。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか			配置数は基準を満たしており、専門性を持つ職員で構成している。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか			事業所がマンション2階にあるため、階段使用はやむを得ないが、事業所内はワンフロアであり、利用者の動線を考慮した配置をしている。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか			一人の意見ではなく、職員間で確認している。今後も利用保護者の願いを具現化できるよう充実していく。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか			定期的に使用教具・教材・プログラム内容を見直し、ブラッシュアップしている。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			直接交流は実施していないが、祝日イベント時の外出等のふれあいはある。
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか			契約時に説明はしているが、今後も様々な機会支援内容など丁寧に説明をしていく。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか			事業所にとっての最重要事項と捉え、送迎時、個別面談、保護者体験会、HPブログ、LINE、保護者会等々、様々な場面を活用し、一層きめ細かく共通理解を図るよう努力する。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		○送迎時に様子を知らせてもらって助かっている。	個別面談、LINE等により双方向の相談ができるよう努力する。また、保護者が事業所に来てもらえるような企画を実施していく。

保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			事業所主体で企画し、徐々に保御者主体で無理なくできるような保護者間連携のあり方を探っていく。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか			苦情・問い合わせ等があった場合、窓口を一本化し、迅速に対応できるよう、体制を整えている。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか			連絡帳、通信、LINE等で、可能な限りの情報伝達・情報交換をしているが、さらに充実させていきたい。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか			定期的+不定期で通信を発行し、ビジネスLINE等で、情報伝達・情報交換をしているが、さらに充実させていきたい。
	14	個人情報に十分注意しているか			所定の場所で一括管理・保管をしている。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか		◇コロナ対策をよりしっかりとお願いしたい。	検温・手洗い・うがい・換気・除菌・抗菌・パーティション等、できる限りの対策を取っている。マニュアルについては、機会・場所を設定して周知していきたい。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか			避難訓練を実施しているが、定期的な実施をさらに追求していく。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか			活動がマンネリ化しないよう定期的にブラッシュアップすると共に、職員の支援スキル向上を図り、利用者が楽しみながら療育効果を上げられるよう取り組む。
	18	事業所の支援に満足しているか			まだまだ改善途中ですが、保護者のご理解・ご協力をいただき、療育効果向上に向けて、さらなる工夫・改善を図っていく。